

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科
科目名称 [英語名称]	からだと栄養Ⅱ [Nutrition and Human MetabolismⅡ]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	307700	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	川北 久美子/六車 三治男				学位授与の方針 との関連	DP1(1)	
授業概要	<p>からだと栄養Ⅰ やからだと疾病Ⅰ で学んだ知識をもとに五大栄養素の消化吸収について学びます。また個体維持のためにヒトに備わっている摂食行動について学びます。消化・吸収については、関連するホルモンや消化酵素、それぞれの分泌細胞や作用機序、吸収機構を理解し、小腸から吸収されてからの栄養素の各組織への運搬・利用・貯蔵などの機構についても理解を深めます。また消化管と免疫の関わりや免疫と栄養についてもふれます。【知識・理解の育成】</p>						
関連する科目	<p>同時期にからだと疾病を受講することが望ましい。履修後は生化学、臨床医学を受講し理解を深めることが望ましい。</p>						
授業の進め方と方法	<p>書きこみ式のプリント教材を作成し、特に国家試験に出題される点を強調しながら埋めることで教科書の理解を図ります。理解しがたい内容に関しては、まず自身で教科書を読み、プリント教材に図式化する。その際に教室を回り、質疑応答しながら図式を完成させることで理解を深めます。また項目ごとに関連する国家試験問題を提示し、授業内容とリンクさせ、学んだことがどのように出題されるかを説明します。 * アクティブラーニングについて ほぼ毎時間小テストを行い、理解度を確認していきます。【知識・理解の育成】</p>						
授業計画	<p>第1回 栄養代謝の概要 (川北) 第2回 食物摂取と消化器系 (川北) 第3回 消化の概要 (川北) 第4回 吸収の概要 (川北) 第5回 タンパク質の管腔内消化とその調節 (六車) 第6回 タンパク質の吸収 (六車) 第7回 糖質の管腔内消化とその調節 (六車) 第8回 糖質の吸収 (川北) 第9回 脂質の管腔内消化とその調節 (川北) 第10回 脂質の吸収 (川北) 第11回 ビタミンの吸収 (川北) 第12回 ミネラルの吸収 (川北) 第13回 栄養素の体内動態 (川北) 消化器系の各部位の役割、消化・吸収の調節機構、栄養素ごとの消化・吸収過程について学びます。 第14回 摂食行動 ①摂食の調節について (川北) 第15回 摂食行動 ②栄養と免疫について (川北) 体内リズムの重要性や免疫に対する栄養素の作用について学びます。</p>						
授業の到達目標	<p>摂食行動や栄養素の消化と吸収、吸収された後の栄養素のゆくえを理解をする。【知識、理解の育成】 栄養素の消化・吸収機構を理解して、体内における役割を理解する。【知識、理解の育成】</p>						
授業時間外の学修	<p>【予習】次回授業内容を予告された部分についてテキストを熟読することで内容を把握しておいて下さい。(1時間程度) 【復習】ほぼ毎回授業の最初に前回授業内容にかかる小テストを実施するので復習しておいて下さい。(1時間程度)</p>						
課題に対するフィードバック	<p>小テストについては毎回答え合わせをします。定期試験は試験後解説および質疑応答をします。試験に対する質問には個別でも対応します。</p>			評価方法	<p>小テスト(10点)、定期試験(90点)</p>		
テキスト	<p>生化学・基礎栄養学 第2版 編者 池田彩子他(朝倉書店) 基礎栄養学 改訂 第6版 奥 恒行、柴田克己 編集 (南江堂)</p>						
参考書	<p>人体の構造と機能 第5版 編集 内田さえ他(医歯薬出版株式会社) 栄養科学イラストレイテッド 生化学 第4版 藺田勝 編 (羊土社) 必要に応じて資料を配布します。</p>						
備考							